

第 1 回理事会議事録

1 開催場所

札幌市中央区北 5 条西 6 丁目 札幌センタービル 5 階会議室

2 開催日時

平成 23 年 5 月 27 日（金） 10 時 00 分から 11 時 45 分まで

3 理事総数

8 名

4 出席した理事数

7 名

内訳	出席	7 名	小林 好宏、丹保 憲仁、山崎 一彦、岩田 圭剛、 青木 次郎、田村 修二、吉田 守利
	欠席	1 名	向井 慎一
	監事	2 名	久野 光朗、宮崎 幸一

5 議長選任等の経過

定刻に至り、小林好宏会長が挨拶の後、丹保憲仁議長が議事の進行を務め、現在理事数 8 名のうち、理事現在数の過半数以上が出席しているので、定款第 41 条の規定により本理事会は成立している旨を告げた。

次いで、議事録署名人の選任について、丹保憲仁議長、小林好宏理事長、久野光朗監事、宮崎幸一監事を議事録署名人に選任し、議事に入った。

6 議案の審議状況及び議案別議決の結果等

報告事項

(1) 公益財団法人はまなす財団定款について

(2) 平成 23 年度事業計画及び収支予算について

山崎常務理事より資料に基づき説明、報告した。特に意見及び質問はなく了承された。

議事に入り、

第 1 号議案 「平成 22 年度事業報告書について」

は、山崎常務理事から資料 4 に基づき、

第 2 号議案 「平成 22 年度収支決算書について」

は、資料 5 に基づき遠藤総務部長から説明し、久野監事が監査報告を行った。全員一致で本決算を評議員会に提出することが承認された。

次に、田村理事より「いろいろな事業をされているが財団の活動としてなにが残ったか」との質問があり、山崎理事より「当財団の事業から派生して新しい動きが起こっている事例がある。大雪カントリーホームの一般法人化、雑誌 BYWAY 後志から鯉場ヤン衆小道などが民間から立ち上がっている。」との説明がなされた。田村理事より「支援に努めるだけなのか、もう少し企業化に結びつく事業起しはなされないのか」との質問があり、山崎常務理事より「現在も企業化に結びつく事業を行おうとしている。ただ財団の性質上自らリスクを取って事業化を行うことは難しい。キーになる人に頑張ってもらって食べていけるだけの事業にもっていく。そのためのサポートに特化したい。参加をお願いするなど、息長くフォローしていきたい」、丹保議長から「個別に支援しながら、全体をどうまとめるかの仕事も財団として重要といえる」との説明がなされた。

次に、
第3号議案 「財産管理運用規程(案)」から、
第4号議案 「委員会規程(案)」
第5号議案 「事務局組織規程(案)」
第6号議案 「職員給与等規程(案)」
第7号議案 「情報公開規程(案)」
まで、規程の改正ということで、参考資料「規則改正一覧」により遠藤総務部長が一括説明
し了承された。

また、
第8号議案 「評議員会の開催について」
は、資料13に基づき6月3日に開催が決定した。

その他
向井理事は商工会議所連合会を退職し、辞任届が出てきているので、6月3日の評議会に諮
り、後任を商工会議所連合会の推薦に基づき決定したい旨の説明をした。

次に、参与の設置について
山崎常務理事より、資料14に基づき「新たに若干名の参与を設置させていただく。少ない
スタッフと少ないお金で対応していくための手段の一つとして参与を設置する」との説明が
あった。

次に、理事会開催の標記について、年度別開催を通算回数で表記することに了承を求め、
了解された。

次に、理事選考の透明化について
公益認定等委員会の委員長名で依頼があり、8月の理事会で選考委員会(仮称)設置につい
て議論頂き、11月の理事会評議員会で決定したい旨の説明があった。
最後に、次期理事会開催に先がけて、今回同様、事前調整を行う旨、協力依頼した。

丹保議長から、他に何か意見等がないかと求めたところ、特に発言等はなかった。

丹保議長が、「以上をもって本日の議事は終了した」と宣言し、11時45分に第1回理事会
を閉会し、解散した。

上記の議決等を明確にするため、議長及び議事録署名人は、本議事録に署名、押印する。

平成23年5月27日

公益財団法人はまなす財団 第1回理事会

議 長 理事会の議長 丹 保 憲 仁 ㊟

議事録署名人 理 事 長 小 林 好 宏 ㊟

議事録署名人 監 事 久 野 光 朗 ㊟

議事録署名人 監 事 宮 崎 幸 一 ㊟